

州

名前

問1 南アメリカ大陸のブラジルやオセアニアのオーストラリアは、広大な国土を持ち、ある鉱産資源の生産量が世界的に見て上位にあります。製鉄の重要な原料として利用されるこの資源の名称を答えなさい。(2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 原油 2. 石炭 3. ポークサイト 4. 鉄鉱石

問2 南アメリカ大陸の西側にそびえるアンデス山脈の断断的な特徴に関連して、この地域の住民の生活様式を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 険しい地形を活かして、大陸を東西に結ぶ大規模な鉄道網が発達しており、山脈を越えた貿易が経済の中心となっている。
2. 山脈の断面形状が平坦であるため、大規模な機械を導入した小麦の企業的穀物農業が山岳地帯のいたるところで展開されている。
3. 標高が高い地域ほど温暖になるため、山頂付近ではコーヒーやサトウキビの栽培が盛んに行われている。
4. 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリヤマ、アルパカの放牧が行われている。

問3 広大な国土を持つブラジルの土地利用について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国土面積に占める土地利用の割合を示した統計において、約六割という大きな割合を占めている項目に着目して答えなさい。 (2025年 山梨県公立入試 類似)

1. 乾燥した気候の影響により、砂漠や岩石地などのその他の土地が国土の約六割を占めている。
2. 肉牛の放牧が盛んであるため、牧場・牧草地の割合が国土の約六割に達している。
3. アマゾン川流域などの熱帯林を中心とした森林の割合が、国土の約六割と非常に高い。
4. 大豆やさとうきびを生産するための農地が、森林の割合を上回って国土の過半数を占めている。

問4 オセアニア州にあるサンゴ礁を基盤とする島国では、地球温暖化を背景とした「海面浸食」が大きな課題となっています。この問題が発生する地形的な背景とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。(2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. サンゴ礁の島は山地が少なく標高が極めて低いため、わずかな海面の上昇でも居住地や耕作地に海水が入り込みやすい。
2. 大陸から切り離された孤立した島々であるため、海面上昇によって独自の生態系を持つマングローブ林が乾燥し、砂漠化している。
3. サンゴ礁が波の衝撃を吸収できなくなったことで、リアス海岸特有の複雑な入り江に津波が押し寄せやすくなっている。
4. プレートの境界に位置するサンゴ礁の島では、温暖化による海水温の上昇が引き金となって火山活動が活発化している。

問5 南アメリカのアンデス山脈周辺の産業について、標高4000メートル付近の厳しい自然環境における人々の生活と、低地での農耕を対比させた状況を想定します。このような高地を含む環境下でも栽培が可能であり、古くから現地の人々の主食として重要な役割を果たしてきた農作物を次のの中から選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)

1. 小麦 2. キャッサバ 3. ジャガイモ 4. タロイモ

問6 オセアニア地域に含まれるオーストラリアやニュージーランドについて、2017年から2019年の統計資料から読み取れる日本人の動向として、正しい説明はどれですか。（2024年 兵庫県公立入試 類似）

1. ASEAN諸国への留学人気に押され、日本人留学生数と訪問者総数の両方が減少した。
2. 英語教育への関心の高まりを受け、訪問者総数と留学生数の両方が大幅に増加した。
3. 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。
4. ビジネス目的の訪問者が急増した一方で、治安への不安から日本人留学生数は減少した。

問7 南アメリカ大陸に位置するブラジルの農業において、広大な土地を利用した「大規模な機械化」が進んだ結果、近年輸出額が急増し、世界的な産地となっている農産物はどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. カカオ 2. 茶 3. 天然ゴム 4. 大豆

問8 オセアニア地域に位置するオーストラリアにおいて、イギリス植民地時代の面影を残しながらも、近年アジアからの移民が急増し、社会の多様性が進んでいる背景を説明した文として、適切なものを選びなさい。(2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 広大な国土を開発するために、周辺諸国との関わりを断ち、自国の伝統文化のみを保護する政策に切り替えたため。
2. 国内の先住民との対立を解消するために、ヨーロッパ以外からの移民を禁止する白豪主義を徹底したため。
3. イギリスとの軍事的な協力関係を維持するために、英語を公用語とする人々に限定して移民を認めてきたため。
4. アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。

問9 オーストラリアは、石炭や液化天然ガス（LNG）などのエネルギー資源を豊富に産出しています。ある統計において、オーストラリアのエネルギー自給率が304.3%という極めて高い数値を示している理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 製造業がほとんど存在しないため、国内でエネルギーを消費する必要が全くないため
2. 広大な国土を活かした太陽光発電や風力発電だけで、国内の全エネルギーをまかなっているため
3. 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため
4. 国内の人口が極めて少ないため、エネルギー資源の採掘そのものを厳しく制限しているため

問10 オーストラリアの鉱物資源の採掘において、広大な国土を活かして地表から直接削り取る採掘方法と、この国で産出が盛んな資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 露天掘り — 鉄鉱石や石炭 2. 坑内掘り — 原油や天然ガス 3. 露天掘り — 原油や天然ガス 4. 坑内掘り — 鉄鉱石や石炭

問11 主要国のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量の関係について、ブラジルはオーストラリアと比較すると、エネルギー消費量が多いものの、二酸化炭素排出量の増加は相対的に抑えられているという特徴があります。このようなエネルギー構造になっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)

1. 安価な石炭を主なエネルギー源として利用し、火力発電を電力供給の中心にしている。
2. さとうきびを原料としたバイオ燃料の普及や、水力発電の割合が高いことが影響している。
3. 二酸化炭素の排出を抑えるため、国内の全エネルギー消費を風力と太陽光のみでまかなっている。
4. シェールガスの採掘技術が発達し、二酸化炭素を排出しない天然ガスの利用が国内で完結している。

問12 16世紀から19世紀にかけて、南アメリカの植民地における農園や鉱山での労働力として、アフリカ州から多くの人々が強制的に連れてこられた歴史的背景に関する説明として、最も適切なものはどれですか。(2023年 福島県公立入試 類似)

1. アフリカの諸王国から最新の農業技術を導入するため、専門的な技術者を組織的に招いた。
2. アフリカの気候が南アメリカの山岳地帯と酷似しており、高地での労働に適していたため。
3. 南アメリカ大陸の人口を急激に増やすことで、ヨーロッパ本国からの独立を早める狙いがあった。
4. 現地の先住民が感染症や過酷な労働によって激減したため、不足した労働力を補う必要があった。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 鉄鉱石	ブラジルやオーストラリアは、安定陸塊と呼ばれる古い地質構造が広がっており、製鉄に欠かせない鉄鉱石が豊富に埋蔵されています。特にオーストラリアは露天掘りによる大規模な採掘が行われており、日本にとっても最大の輸入相手国となっています。石炭もオーストラリアで多く産出されますが、ブラジルではそれほど多くないため、両国に共通する主要な資源としては鉄鉱石が適切です。
問2	答え 4 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリヤマ、アルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈は標高が非常に高く、高度が上がるにつれて気温が下がる垂直的な気候の変化が見られます。住民はこの環境に適応し、低地では熱帯の作物を、高地では寒冷な気候に強いジャガイモの栽培や、家畜としてリヤマやアルパカを飼育するなど、標高に応じた多様な生活を営んでいます。また、低地よりも過ごしやすい標高2,000m～3,000m付近に都市（例：ラパスやキト）が形成されることも特徴です。
問3	答え 3 アマゾン川流域などの熱帯林を中心とした森林の割合が、国土の約六割と非常に高い。	ブラジルは世界最大の熱帯雨林であるアマゾン川流域を抱えており、土地面積に占める森林の割合が約60%と非常に高いことが大きな特徴です。近年、農地開発や牧草地の拡大、道路建設などによって森林破壊が深刻な問題となっていますが、依然として国土の大部分を森林が占めています。
問4	答え 1 サンゴ礁の島は山地が少なく標高が極めて低い ため、わずかな海面の上昇でも居住地や耕作地に海水が入り込みやすい。	サンゴ礁でできた島々は、火山島などと比較して地形が非常に低く平坦であるという特徴があります。そのため、地球温暖化による海面上昇は、単に土地が削られるだけでなく、井戸水への塩分混入や農地の塩害を引き起こし、人々の生活基盤を脅かしています。これはオセアニア諸国にとって国家の存続に関わる重大な国際問題となっています。
問5	答え 3 じゃがいも	アンデス山脈の高地は気温が低く、多くの農作物の栽培には適さない厳しい環境ですが、じゃがいもはこのような冷涼な気候に強く、古くから重要な食料源となってきました。同じ南アメリカの熱帯低地ではキャッサバが主に栽培されますが、高地の厳しい環境下で主食として栽培されてきたのはじゃがいもであるという点が特徴です。
問6	答え 3 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。	オセアニアにおける日本人訪問者の動向を統計的に捉えると、観光客数などの変動に関わらず、学習を目的とした滞在者が一貫して増えているという特徴があります。これは、単なる観光地としての魅力だけでなく、語学学習や異文化理解を目的とした中長期的な教育交流が深化していることを示しています。統計分析においては、全体の数値だけでなく目的別の内訳を比較することで、こうした社会的な背景を読み取ることが可能です。
問7	答え 4 大豆	ブラジルでは、かつてのコーヒーモノカルチャー経済からの脱却を図るため、内陸部の未開発地域であったセラード（草原地帯）などの開発を進めました。そこで導入されたのが大規模な機械化農業であり、現在ではアメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆生産・輸出拠点となっています。天然ゴムはアマゾン川流域で過去に栄えた産業、カカオは西アフリカなどで盛んな作物です。
問8	答え 4 アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。	オーストラリアは地理的にアジアに近く、石炭や鉄鉱石などの資源輸出を通じてアジア諸国との経済的なつながりが非常に強くなっています。こうした背景から、従来のイギリス中心の考え方を改め、アジアからの移民を労働力や社会の構成員として受け入れるようになりました。その結果、互いの文化を尊重し合う「多文化社会」の考え方が定着しました。
問9	答え 3 自国で消費するエネルギー量に比べて、国外へ輸出する資源の量が圧倒的に多いため	オーストラリアは石炭、鉄鉱石、液化天然ガス（LNG）、ウランなどの鉱産資源が豊富に埋蔵されています。エネルギー自給率は「国内のエネルギー消費量」に対する「国内のエネルギー生産量」の割合で示されるため、自国で使う量よりもはるかに多い資源を生産し、日本などの諸外国へ輸出しているオーストラリアの数値は100%を大きく超えることになります。
問10	答え 1 露天掘り ― 鉄鉱石や石炭	オーストラリアでは、鉄鉱石、石炭、ボーキサイトなどの鉱物資源が地表近くに豊富に埋蔵されています。そのため、地下にトンネルを掘る「坑内掘り」ではなく、地表を直接階段状に掘り進める「露天掘り」という大規模で効率的な手法が採用されています。
問11	答え 2 さとうきびを原料としたバイオ燃料の普及や、水力発電の割合が高いことが影響している。	ブラジルでは、広大な耕作地を利用して栽培されるさとうきびからバイオエタノールを生産し、自動車の燃料などとして広く普及させています。また、豊かな水資源を背景に電力供給の多くを水力発電に頼っているため、化石燃料への依存度が低く、エネルギー消費量の規模に対して二酸化炭素の排出が抑制される傾向にあります。
問12	答え 4 現地の先住民が感染症や過酷な労働によって激減したため、不足した労働力を補う必要があった。	南アメリカに入植したヨーロッパ諸国は、当初は現地の先住民を労働力として利用しようとしたが、ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症や、不慣れた環境下での過酷な労働によって先住民の人口が激減しました。この深刻な労働力不足を解消するために、奴隷貿易を通じてアフリカ州から多くの人々が連行され、プランテーションや鉱山で働かされることになりました。これは世界的な規模で行われた三角貿易の一部でもあります。